

特別委員会の報告

去る平成23年6月17日に設置した2つの特別委員会について、平成24年2月27日に最終報告を行いました。

地域公共交通システム検討特別委員会

1 設置の目的 地域住民の実情に即し、より利便性を図った公共交通システムの構築に資するため。

2 開催回数 10回

3 視察・研修等 長野県安曇野市、岡山県総社市

及び奈良交通株式会社

4 まとめ 町が平成24年2月20日から町内循環型の元気号の運行を開始したことから、当特別委員会は集中的にデマンド式乗合型タクシーの運行について検討し、様々な観点から調査・研究・協議してきた。

今後、両者の関係をどのように整理するかは、先行した元気号の利用実態や利用者の意見も十分に検討して結論をまとめるべきものと信ずる。

また、今回の検討では「今後の課題」として、当面利用する可能性がない層の意見も、3年から5年後には、みずから移動手段を持たない層に転ずる可能性に留意しておくことが重要である。

こうした前提で、町においてデマンド式乗合型タクシーの運行について本格的に検討することを要請した。



水道事業に関する検討特別委員会

1 設置の目的 町の水道事業の安定的で健全な運営に資するため。

2 委員会開催回数 3回

3 視察・研修等 奈良県水道局桜井浄水場

4 まとめ 水道事業は全住民がひとしく関心のあることがらで、かつライフラインでもある自己水も含み、町においては県営水道に対して近隣の自治体との情報交換や研究の成果も十分に把握して、今後も責任ある対応に当たっていただくことを希望するとともに、当議会も、おいしく低質な水を安定的に確保することについて、最大限の努力と協力を惜しまないことを表明した。

